

# 第3章

## 工業用水道事業



澁川工業用水道事務所 揚水ポンプ分解点検工事



## 1 事業概要

工業用水道事業は、昭和38年に地方公営企業法が適用され、低廉豊富な工業用水を安定的に供給することにより、県内工業の振興発展に寄与することを目的としている。

企業局では、利根川の表流水を水源とする渋川及び東毛の2箇所工業用水道を運営しており、地域開発のための基盤整備事業として、環境及び国土の保全を図る地盤沈下対策事業として重要な役割を果たしている。

また、附帯事業として、渋川工業用水道では渋川市へ上水の原水供給を行っている。

## 2 令和3年度事業(実績)

### (1) 給水実績

	渋川工業用水道	東毛工業用水道	合計
給水事業所数	8社8事業所	87社97事業所	95社105事業所
年間契約水量 (m <sup>3</sup> )	41,471,300	31,143,281	72,614,581
年間総給水量 (m <sup>3</sup> )	32,198,253	13,381,968	45,580,221
年間給水料金 (千円) (税込)	582,839	1,170,562	1,753,401

### (2) 主な建設改良事業

#### ① 渋川工業用水道

- ・沈澱池1号耐震補強外工事 46,706千円
- ・浄水場監視カメラ設置工事 5,830千円

#### ② 東毛工業用水道

- ・取水ポンプ更新工事 (R2-R3) 93,500千円
- ・西ルート石田川橋水管橋補強 (その2) 工事 38,390千円

## 3 令和4年度事業(予定)

### (1) 業務の予定量

	渋川工業用水道	東毛工業用水道	合計
給水事業所数	8社8事業所	87社97事業所	95社105事業所
年間契約水量 (m <sup>3</sup> )	41,471,300	30,620,580	72,091,880
年間総給水量 (m <sup>3</sup> )	31,980,570	13,778,750	45,759,320
年間給水料金 (千円) (税込)	617,778	1,141,840	1,759,618

### (2) 主な建設改良事業

#### ① 渋川工業用水道

- ・配水池耐震補強実施設計委託
- ・テレメータ (子局) 盤取替工事

#### ② 東毛工業用水道

- ・浄水場周辺水源調査委託
- ・原水濁度計増設工事

#### 4 施設の概要（令和4年4月1日現在）

	渋川工業用水道 (渋川市白井957)	東毛工業用水道 (太田市高林南町1-7)
事業費	当初 859 百万円 拡張 3,575 百万円 改築 3,897 百万円	当初 16,320 百万円 拡張 16,171 百万円
建設期間	当初 昭和38年度 ~ 昭和44年度 拡張 平成10年度 ~ 平成20年度 平成30年度 ~ 令和2年度 改築 平成元年度 ~ 平成21年度	当初 昭和50年度 ~ 令和2年度 拡張 昭和62年度 ~ 令和2年度
給水能力	120,000 m <sup>3</sup> /日	128,500 m <sup>3</sup> /日
水源	利根川表流水	利根川表流水 草木ダム(通年) 奈良俣ダム(冬期) 八ツ場ダム(冬期) 利根川表流水(夏期)
給水開始年月日	昭和40年 8月10日 (一部) 昭和44年 4月 1日 (全部)	昭和53年10月18日 (一部) 昭和55年 4月 1日 (全部)
給水区域	前橋市、高崎市、渋川市、吉岡町	伊勢崎市、太田市、館林市、板倉町、 明和町、千代田町、大泉町、邑楽町
給水事業所数	8社8事業所	87社97事業所

## 5 経営の状況

### (1) 給水量と料金収入の推移

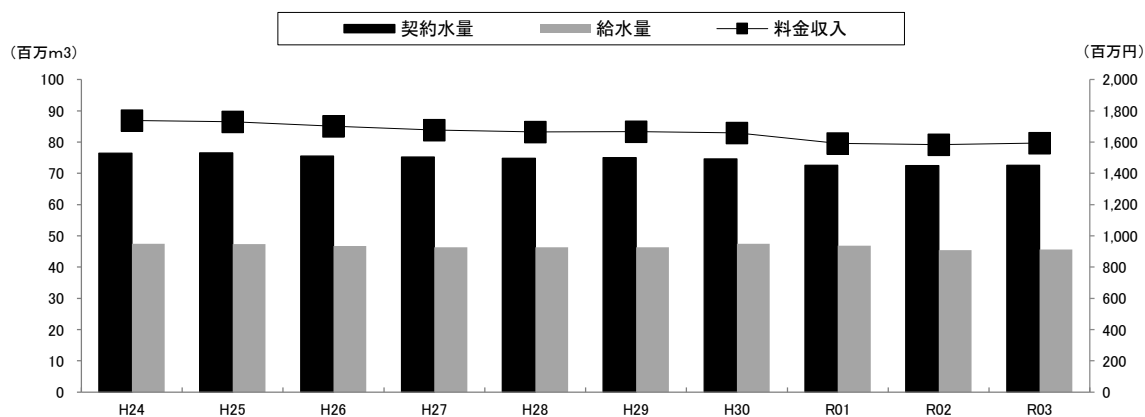
(税抜)

区 分		年 度				
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予定)
渋川工業用水	契約水量(千m <sup>3</sup> )	41,471	41,585	41,471	41,471	41,471
	給水量(千m <sup>3</sup> )	32,291	32,093	31,796	32,198	—
	給水率(%)	77.9	77.2	76.7	77.6	—
	料金収入(千円)	531,875	533,234	529,452	529,854	561,617
	対前年比(%)	100.6	100.3	99.3	100.1	—
東毛工業用水	契約水量(千m <sup>3</sup> )	33,097	30,970	30,988	31,143	30,621
	給水量(千m <sup>3</sup> )	15,207	14,712	13,635	13,382	—
	給水率(%)	45.9	47.5	44.0	43.0	—
	料金収入(千円)	1,127,836	1,057,871	1,055,027	1,064,147	1,038,037
	対前年比(%)	99.1	93.8	99.7	100.9	—
合 計	契約水量(千m <sup>3</sup> )	74,568	72,555	72,459	72,615	72,092
	給水量(千m <sup>3</sup> )	47,498	46,805	45,431	45,580	—
	給水率(%)	63.7	64.5	62.7	62.8	—
計	料金収入(千円)	1,659,711	1,591,105	1,584,479	1,594,001	1,599,653
	対前年比(%)	99.6	95.9	99.6	100.6	—

注1：給水率＝給水量／契約水量×100

注2：令和元年度における各実績値は、令和2年がうるう年のため、366日分として計上。

### 契約水量と料金収入の推移



(2) 契約料金

① 渋川工業用水道

(円/㎡・税抜)

年 度	S40～49	50	51～55	56～H6	7	8～11	12～18	19(注2)～R3	R4～
基本料金	4	6(注1)	7	9	11	12	13	12	12
使用料金	—							1	2

注1： S50.4.1～S50.12.31：6円、S51.1.1～：7円

2： H19.4.1～二部料金制導入

② 東毛工業用水道

(円/㎡・税抜)

年 度	S53～55	56～58	59～61	62～H元	2～4	5～7	8～10	11	12	13～18	19～(注)
基本料金	13	16	19	22	26	29	32	33	34	35	33
使用料金	—										2

注： H19.4.1～二部料金制導入

## 6 予算

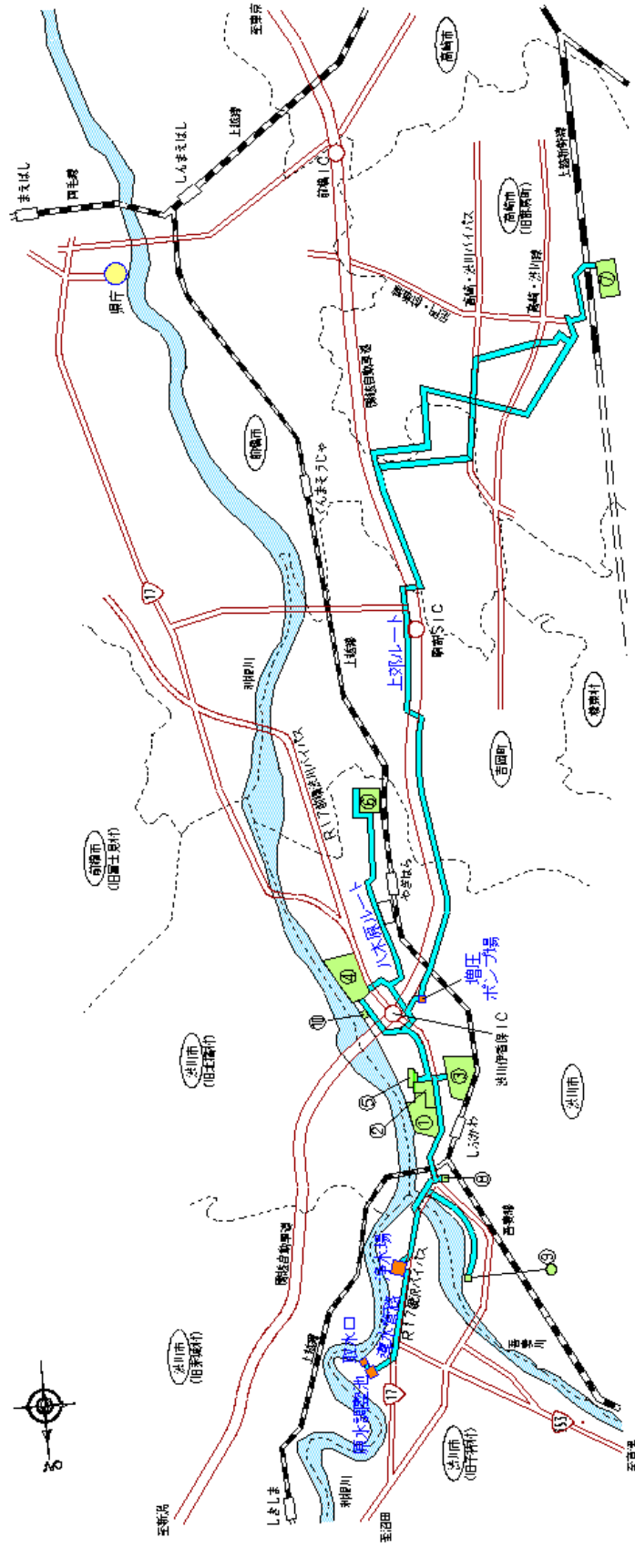
収益的収支及び資本的収支の状況

(単位 千円)

区 分		令和4年度当初予算	前年度当初予算
収益的 収入 ・ 支出	工業用水道事業収益	2,069,215	2,071,648
	営業収益	1,759,618	1,753,743
	営業外収益	309,597	317,905
	特別利益	—	—
	工業用水道事業費用	2,028,436	2,022,060
	営業費用	1,815,930	1,807,918
	営業外費用	192,506	194,142
	予備費	20,000	20,000
	差 引	40,779	49,588
資本的 収入 ・ 支出	工業用水道事業資本的収入	445,500	494,900
	補助金	—	16,400
	他会計からの長期借入金	411,000	466,000
	工事費負担金	34,500	12,500
	工業用水道事業資本的支出	1,100,807	1,239,626
	建設改良費	460,648	534,798
	企業債償還金	564,559	654,828
	他会計からの長期借入金償還金	25,600	—
予備費	50,000	50,000	
	差 引	△ 655,307	△ 744,726

## 7 給水区域図

### 渋川工業用水道事業概要図





## 東毛工業用水道事業概要図

